

篠崎 高等学校 令和5年度(1学年) 教科

單位數： 1 單位

單位數： 1 單位

教科担当者：(1組：井上・山下) (2組：武藤・石井) (3組：古宮・野村) (4組：佐藤万・狩野) (5組：岩崎・服部) (6組：綱島・名取) (7組：松田・上平)

)

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】地域社会における企業や団体が抱える課題について、他者と協働しながら主体的に望ましい解決の在り方について探究しようとしている。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域社会における企業や団体が抱える課題について、他者との協働に基づく探究的な学びを通して理解することができる。	地域社会における企業や団体が抱える課題を解決するために、企業へのインタビューやアンケートなどの調査を基に、多面的、多角的に分析し、その過程や望ましい解決の在り方について表現することができる。	地域社会における企業や団体が抱える課題について、他者と協働しながら主体的に望ましい解決の在り方について探究しようとしている。

[illegible]

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			道 徳	書 読	読					
1 学 期	「まだ知らない自分に出会う」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の展開に即して、読書の在り方に対する筆者の主張を捉え、自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
	「水の東西」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類（論理的文章）を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 水を扱う東洋と西洋の違いについての筆者の主張を的確に読み取り、必要に応じてその内容を要約できている。	○	○	○	14
定期考査							○	○		1
2 学 期	「まちの豊かさとは何か」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 まちの豊かさについて筆者の意図を解釈し、学習課題に沿って、筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	「真の自立とは」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代について関心を持ち、筆者の説く内容を理解して自分の考えを深め、これまで身に付けた力を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしようとして、自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	14
定期考査							○	○		1

[illegible]

3 学 期	【読者の心を動かす力、物語力等】 豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを伝げたり探めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を促めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・考えや感情の面白さがストーリーのひのか考えさせる。 ・登場人物の言動を読み取らせ、人物像について考えさせる。 ・『推蔵』という故事成語の意味を確認させる。			・「うねばーと」にのびのび、大勢の情熱を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・『推蔵』において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで課題のきまりを理解し、学習課題に沿って、故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。	○	○	○	70
	定期考査					○	○		1

高等学校 令和5年度 教科

地理歴史

科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：(1～4・6・7組：川原(5組：小黒)

使用教科書：(教科書 ワークシート ICT端末 等)

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して適応される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについて自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地図でとらえる現代世界 【知識及び技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・緯度経度、地図の種類、統計地図、GISなど ・教材 教科書・地図帳 ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。	【知識・技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	5
	結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う	・領域の三要素、国境、排他的経済水域、国際連合、南北・南南問題、グローバル化と通信技術など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形的特徴や自然によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	5
	中間考査						1
	世界の地形と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人の特色ある生活文化を、地形に由来する自然環境から影響を受けたり、あるいは影響を与えたりして多様性をもつことや、自然環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 地形的特徴や自然によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	・営力、変動帯、安定地域、プレート、火山、地震、河川地形、海岸地形、氷河地形、地形が生活に与える影響など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の人の特色ある生活文化を、地形に由来する自然環境から影響を受けたり、あるいは影響を与えたりして多様性をもつことや、自然環境の変化によって変容することなどについて理解できている。 【思考・判断・表現】 世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形的特徴や自然によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	9
	世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が気候から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、気候の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や気候との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と生活文化の関係性に着目して、人間の生活の工夫について主体的に追究、解決しようとしている。	・大気の大循環、ケッペンの気候区分、気候区分ごとの植生、気候と生活文化（衣食住）の関係性、モンスーンなど ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が気候から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、気候の変化によって変容することなどについて理解できている。 【思考・判断・表現】 世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や気候との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 気候変動によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	9
	期末考査						1

2 学 期	世界の言語・宗教、歴史と結びついた人々の生活 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が社会集団における文化的要素から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる文化圏の特徴や宗教との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 文化的な社会集団間で生じる紛争等の課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	・文化、言語、民族、宗教、資源、経済発展、産業など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が社会集団における文化的要素から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことなどについて理解できている。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる文化圏の特徴や宗教との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文化的な社会集団間で生じる紛争等の課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	中間考査						1
	世界の産業と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、地域の産業が気候や文化的特徴から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、グローバル化に伴って変容することなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 地域の産業について主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の産業の発展とそれに伴って生じる課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	・農業、工業（アメリカ、中国、韓国、ヨーロッパ）など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、地域の産業が気候や文化的特徴から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、グローバル化に伴って変容することなどについて理解できている。 【思考・判断・表現】 地域の産業について主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域の産業の発展とそれに伴って生じる課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	期末考査						1

3 学 期	地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・地球的課題（環境問題、エネルギー問題、人口問題、経済格差、食料問題、都市・村落問題）など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用 地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解できている。 【思考・判断・表現】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	持続可能な地域づくりと私たち 【知識及び技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・日本と自然災害、防災など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用 地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解できている。 【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
							合計
							70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教科： 数学 科目： 数学Ⅰ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： （ 新編 数学Ⅰ 数研出版 ）

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 章 数と式 【知識及び技能】 ・ 指数法則や乗法公式といった計算規則についての理解を深め、適切に式を変形することができる。 ・ 乗法公式を逆に用いることで因数分解の公式として利用できることを理解し、式を正しく因数分解することができる。 ・ 不等式の意味やその基本性質、不等式の解と不等式を解くことの意味について理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 式を多面的に捉える工夫の中から、目的に応じて適切な方法を判断することができる。 ・ 式の特徴に応じて、式の一部を1つの文字に置き換えて考えたり、特定の文字に着目して整理するなど、見通しをもって式を因数分解したりすることができる。 ・ 具体的な数の大小関係をもとにして、不等式の基本性質について考察したり、説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 式を多面的に捉えて、複数の方法で式を変形する方法について、それぞれのよさを比較・検討しようとしている。 ・ 式を多面的に捉えて、複数の見方で式を整理して因数分解する方法について、それぞれの良さを比較・検討しようとしている。 ・ 具体的な数の大小関係をもとにして、不等式の基本性質について定期考査	1 章 数と式 1 節 式の計算 1 展開 2 因数分解 2 節 実数 1 実数 2 根号を含む式の計算 3 節 1次不等式 1 不等式と1次不等式 2 不等式の応用	【知識・技能】 ・ 2次の乗法公式、因数分解の公式について理解を深めている。 ・ 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。 ・ 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 問題を解決する際に、すでに学んだ計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・ 不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 ・ 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 数と式で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 数と式で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	17
			○	○		1

1 学 期	2章 集合と論証 【知識及び技能】 ・ 集合に関する基本的な概念や記号の意味を理解し、適切に用いることができる。 ・ 命題と条件、必要条件、十分条件、必要十分条件の用語の定義を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ 具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考察することができる。 ・ 条件や命題の真偽について、それらを集合の包含関係と関連付け、図表示による表現を用いて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考えようとしている。 ・ 条件や命題の真偽について、それらを集合の包含関係と関連付け	2章 集合と論証 1節 集合 1 集合 2節 命題と論証 1 命題と条件 2 論証	【知識・技能】 ・ 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 集合と論証で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 集合と論証で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	9
	3章 2次関数 【知識及び技能】 ・ 2次関数の意味や関数の値の表し方、及び2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、2次関数の式を平方完成するなどして、グラフをかくことができる。 ・ 関数の定義域・値域の意味を理解し、1次関数や2次関数のグラフを用いて最大値、最小値を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ 2つの2次関数のグラフの位置関係について考察することができる。 ・ 2次関数のグラフを利用して、定義域に応じた値域、最大・最小を論理的に考察したり、具体的な問題の解決に活用したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 2つの2次関数のグラフの位置関係について考えようとしている。 ・ 2次関数のグラフを利用して、	3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 1 2次関数 2 2次関数の最大・最小	【知識・技能】 ・ 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・ 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 2次関数で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

3章 2次関数 【知識及び技能】 ・ 2次関数を決定するための条件について基礎的な知識を身に付け、グラフに関する条件から2次関数を決定することができる。 ・ 判別式を用いて、2次方程式の解の個数を調べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 2次関数のグラフとx軸の共有点について、2次方程式の実数解と関連させて考察することができる ・ 2次方程式の実数解の個数に対する判別式の意義や有用性について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 2次関数のグラフとx軸の共有点を、2次方程式の実数解と関連づけて考えようとしている。 ・ 判別式を活用して2次方程式の実数解の個数の分析を考えようとしている。 定期考査	3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 3 2次関数の決定 2節 2次方程式と2次不等式 4 2次関数のグラフとx軸の共有点 5 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数	【知識・技能】 ・ 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 2次関数で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
			○	○		1

2 学 期	3章 2次関数 【知識及び技能】 ・2次不等式の解と2次関数のグラフの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・2次不等式を利用して具体的な問題について解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係を活用して2次不等式の解	3章 2次関数 2節 2次方程式と2次不等式 6 2次不等式	【知識・技能】 ・2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2次不等式を利用して具体的な問題について解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係を活用して2次不等式の解を考えようとしている。	○	○	○	5
	4章 図形と計量 【知識及び技能】 ・正接、正弦、余弦の意味を理解し、それらを用いて三角形の辺の長さを求めることができる。 ・正弦定理や余弦定理を用いて、外接円の半径を求めたり、既知の辺や角から残りの辺や角の大きさを求めたりすることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象を三角比を利用してその問題を解決することができる。 ・三角比を用いて三角形の構成要素間の関係を考察したり、それらの関係が一般の三角形においても成り立つことを説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・三平方の定理や正接の定義を利用して、三角比の間に成り立つ関係を考えようとしている。 ・点の座標を用いて鋭角の三角比を表現したり、それをもとにして鈍角の三角比の定義について考えたりしようとしている。	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比 1 直角三角形と三角比 2 三角比の相互関係 2節 三角比の拡張 1 三角比と座標 2 三角比の性質 3節 三角比への応用 1 正弦定理・余弦定理・面積の公式 2 空間図形の計量	【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義と、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図形と計量で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・図形と計量で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1

3 学 期	5章 データの分析 【知識及び技能】 ・ 偏差、分散、標準偏差の定義とその意味や特徴を理解し、データをもとにそれらを求めることができる。 ・ 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 偏差の総和を用いてデータの散らばりの大きさを表す方法の短所を見出し、分散の定義について考察したり、標準偏差を用いることの意義について説明したりすることができる。 ・ 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 偏差の総和を用いてデータの散らばりの大きさを表す方法の短所を見出したり、分散の定義や標準偏差を用いる意義について考察したりしようとしている。 ・ 不確実な事象の起こりやすさに	5章 データの分析 1節 データの分析 1 データの散らばり 2 データの相関 2節 データの分析の応用 1 データの分析を利用した問題解決 3節 仮説検定の考え方 1 仮説検定の考え方 2 不等式の応用	【知識・技能】 ・ 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・ コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・ 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・ 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・ 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ データの分析で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ データの分析で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	9
	定期調査			○	○		1

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科 数学 科目 数学A 単位数 2 単位
対象学年組 第 1 学年 1 組～ 7 組
教科担当者 (組) (組) (組) (組) (組) (組)
使用教科書 (新編 数学A 数研出版)
教科 数学 の目標 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・ 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・ 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ・ 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 ・ 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 ・ 条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 ・ 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 ・ 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 場合の数と確率で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 場合の数と確率で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	1章 場合の数と確率 1 節 集合と場合の数 1 数え上げの原則と集合の要素の個数 2 順列	【知識・技能】 ・ 和集合・補集合の要素の個数、和の法則や積の法則を利用した場合の数を求めることができる。 ・ 順列の総数 nPr や階乗の値や条件のある並び方の総数などを計算することができる。 ・ 円順列や重複順列について理解し、それらの総数を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・ 集合の要素の個数を図や補集合を用いて考察したり、和の法則や積の法則を利用した場合の数を計算したりすることができる。 ・ 円順列及び重複順列について図をかくなどしながら、原理を理解して立式し、場合の数の求め方を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 集合の要素の個数を図や補集合を用いて考えたり、積の法則による場合の数の計算方法を考えたりしようとしている。 ・ 円順列及び重複順列について図をかくなどしながら、立式して場合の数の求め方を考えようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1

2章 集合と論証 【知識及び技能】 ・ 集合に関する基本的な概念や記号の意味を理解し、適切に用いることができる。 ・ 命題と条件、必要条件、十分条件、必要十分条件の用語の定義を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考察することができる。 ・ 条件や命題の真偽について、それらを集合の包含関係と関連付け、図表示による表現を用いて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考えようとしている。 ・ 条件や命題の真偽について、それらを集合の包含関係と関連付け、図表示による表現を用いて考えようとしている。	3 組合せ	【知識・技能】 ・ 組合せの総数nCrを理解し、計算することができる。 ・ 順列や組合せの考えを用いて、同じものを含む順列の求め方を理解し、総数を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・ 選び方の違いによって、その総数の求め方が組合せになるか順列になるかを説明することができる。 ・ 選び方の総数が一致する場合の法則性を考察することができる。 ・ 同じものを含む順列の総数の求め方を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 順列や組合せの考え方を用いて、選び方の総数が一致する場合の法則性や同じものを含む順列の総数の求め方を考えようとしている。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1

3章 2次関数 【知識及び技能】 ・ 事象を集合で表したり，事象の確率を求めたりすることができる。 ・ 積事象と和事象の確率について理解している。 ・ 排反事象と確率の加法定理について理解し，それらを用いて確率を求めることができる。 ・ 確率の基本性質や余事象の確率について理解し，和事象の確率や余事象の確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 同様に確からしいことを利用して，事象の確率の考え方を説明することができる。 ・ 互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や，余事象を用いた確率の求め方について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 同様に確からしい根元事象と関連付けながら事象の確率の考え方を説明しようとしている。 ・ 余事象を用いて確率を求めることのよさに気づき，余事象を積極的に活用しようとしている。	1章 場合の数と確率 2節 確率とその基本性質 1 事象と確率 2 確率の基本性質	【知識・技能】 ・ 事象を集合で表したり，事象の確率を求めたりすることができる。 ・ 積事象と和事象の確率について理解している。 ・ 排反事象と確率の加法定理について理解し，それらを用いて確率を求めることができる。 ・ 確率の基本性質や余事象の確率について理解し，和事象の確率や余事象の確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 同様に確からしいことを利用して，事象の確率の考え方を説明することができる。 ・ 互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や，余事象を用いた確率の求め方について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 同様に確からしい根元事象と関連付けながら事象の確率の考え方を説明しようとしている。 ・ 余事象を用いて確率を求めることのよさに気づき，余事象を積極的に活用しようとしている。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1

2 学 期	3章 2次関数 【知識及び技能】 ・ 独立な試行の確率について、具体例を通してその意味を理解し、その確率を求めることができる。 ・ 反復試行の確率を理解し、反復試行の確率を求めることができる。 ・ 条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し、条件付き確率を求めることができる。 ・ 期待値について理解し、期待値を求めたり、期待値を利用して確率を求めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 独立な試行の確率はそれぞれの事象の確率の積に等しいことに着目し、具体例を通して考察することができる。 ・ 反復試行の確率について、組合せの考え方と関連させて考察することができる。 ・ これまで求めてきた確率と条件付き確率の違いを説明することができる。 ・ 期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 独立な試行の確率を求めるために、それぞれの事象の確率の積に着目して、そのことを活用しようとしている。 ・ 反復試行の確率について、組合せの考え方と関連付けて考えようとしている。 ・ 期待値を具体的な問題の意思決定に活用しようとしている。	3節 いろいろな確率 1 独立な試行の確率 2 反復試行の確率 3 条件付き確率 4 期待値	【知識・技能】 ・ 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・ 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ・ 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 ・ 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 ・ 条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 ・ 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 ・ 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 場合の数と確率で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 場合の数と確率で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
	4章 図形と計量 【知識及び技能】 ・ 三角形の内角の二等分線と比、外角の二等分線と比などについて理解し、それらを用いて線分の長さを求めることができる。また、数直線上の内分点、外分点の座標を求めることができる。 ・ 三角形の外心・内心・重心の性質を利用して、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 ・ チェバの定理、メネラウスの定理を利用していろいろな辺の長さや比を求めることができる。 ・ 方べきの定理を利用して線分の長さを求めることができる。 ・ 2つの円の位置関係から補助線を引くことによって、線分の長さを求めることができる。 ・ 空間における2直線・2平面のなす角を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 三角形の外心・内心・重心の存在とその証明について、様々な性質を利用しながら考察することができる。 ・ 円に内接する四角形の定理、接線と弦のつくる角の定理それぞれの証明について、円周角の定理を利用して考察することができる。 ・ 方べきの定理の証明について、三角形の相似を利用して考察することができる。 ・ 空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について、平面上に含まれる直線に着目して考察したり、説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 三角形の外心・内心・重心の存在とその証明について、様々な性質を利用しながら考えようとしている。 ・ 方べきの定理の証明について、三角形の相似を利用して考えようとしている。 ・ 空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について、平面上に含まれる直線に着目して説明しようとしている。	2章 図形の性質 1節 三角形と比 1 三角形と比 2 三角形の外心・内心・重心 3 三角形の比の定理 2節 円の性質 1 円の性質 2 方べきの定理 3 2つの円 4 作図の方法の考察	【知識・技能】 ・ 三角形に関する基本的な性質について理解している。 ・ 円に関する基本的な性質について理解している。 ・ 空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 図形の構成要素間の関係や既に学んだ図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 ・ コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 図形の性質で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 図形の性質で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	17
	定期査			○	○		1

3 学 期	5章 データの分析 【知識及び技能】 ・ n進法の特徴を理解している。 ・ 1を単位とした端数の考え方を理解している。 ・ 正方形の対角線を利用した無理数の長さの線分を作図する方法を理解している。 ・ 振り子のひもの長さとの2数の関係を式に表すことができる。 ・ 1801年～2200年の400年間において、うるう年となる回数と1年の平均日数を求めることができる。 ・ 空間内の点の位置を座標平面上の点から座標空間に拡張させて表すことができる。 ・ 魔方陣の考え方から式を立てたり、魔方陣の場合の数を求めたりすることができる。 ・ 和算の油分け算の仕組みについてどのような関係があるかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ n進法の特徴について考察することができる。 ・ ひもの端数の考え方を利用して、ユークリッドの互除法の仕組みを考察することができる。 ・ 正方形の対角線が無理数であることについて説明することができる。 ・ 空間内の点の位置を表す方法を考察することができる。 ・ 和算の油分け算の仕組みについて2元1次不定方程式を活用して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ n進法の特徴について考えようとしている。 ・ ひもの端数の考え方を利用して、ユークリッドの互除法の仕組みを考えようとしている。 ・ 空間内の点の位置を表す方法を考えようとしている。 ・ 和算の油分け算の仕組みについて2元1次不定方程式を活用して考えようとしている。	3章 数学と人間の活動 1節 数える 1 数との出会い 2 数の拡張 2節 はかる 1 時間を計る 2 空間を測る 3節 遊ぶ 1 数学パズルで遊ぶ 2 和算で遊ぶ	【知識・技能】。 ・ 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解している。 ・ 数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・ 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。 ・ パズルなどに数学的な要素を見いだし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 数学と人間の活動で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 数学と人間の活動で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科 理科 科目 生物基礎 単位数 2 単位
対象学年組 第 1 学年 1 組～ 7 組
教科担当者 (組) (組) (組) (組) (組) (組)
使用教科書 (高校生物基礎 実教出版)

教科 理科 の目標：
【知識及び技能】自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】自然の事物、現象から疑問を見いだすことができ、その疑問に対して仮説を立てることができる。
【学びに向かう力、人間性等】グループワークや実験において自分の意見を発表する等、周囲に対して配慮しながらコミュニケーションをとることができる。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験を通して、基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、レポートを作成や発表を通して科学的に探究する力が育まれている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題、仮説を設定する等、科学的に探究しようとする態度が養われている。その、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	生物の多様性と共通性 ・様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解する。 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解する。 ・生物に共通する性質は細胞であることを理解する。また、細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解する。 定期考査	生物の特徴 生物の多様性と共通性	・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解している。試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。原核細胞と真核細胞の違いについて、細胞小器官の違いとともに理解している。（知識及び技能） ・生物や細胞の観察から課題を見だし、仮説の設定、実験による検証、調査、結果の分析、考察ができる。（思考力、判断力、表現力等） ・生物や生物現象に授業や実験、観察を通して主体的に関わり、自身の学び方を調整しようとする。	○	○	○	8
	生態系とその成り立ち ・生物は環境からの影響を受けながら存在し、生態系には多様な生物が存在することを理解する。 ・陸上には、草原や森林などのさまざまな植生があることを理解する。 ・遷移の事例や資料を通して、植生は不変ではなく、光の量や植生をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを理解する。 定期考査	生物の多様性と生態系 生態系とその成り立ち	・陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 ・植生の遷移についてその過程を理解している。（知識及び技能） ・生物や植生の観察から課題を見だし、仮説の設定、実験による検証、調査、結果の分析、考察ができる。（思考力、判断力、表現力等） ・植物の観察や授業での探究活動に主体的に関わり、自身の学び方を調整しようとする。	○	○	○	1
	細胞とエネルギー ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 ・代謝の反応が行われるときに、酵素がどのように関与しているのかを実験を通して見いだす。 ・光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解する。 定期考査	生物の特徴 細胞とエネルギー	・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。（知識及び技能） ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察、それを表現できる。カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。（思考力、判断力、表現力等） ・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2							

学 期	遺伝情報とDNA ・DNAの構造や性質を研究史を展開しながら理解する。DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を理解する。 ・DNAが体細胞分裂の際に、複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解する。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期にあわせて行われることを理解する。	遺伝子とその働き 遺伝情報とDNA	・DNAが二重らせん構造であること、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。生物の組織からDNAを抽出する技能を習得している。（知識及び技能） ・資料に基づき、DNAの構造を科学的に見いだすことができる。DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。（思考力、判断力、表現力等） ・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見いだし、理解しようとする。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	遺伝情報とタンパク質の合成 ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解する。 ・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解する。 ・すべての遺伝子がすべての細胞で発現しているわけではないことを理解する。資料等から、発現する遺伝子の変化により、細胞が分	遺伝子とその働き 遺伝情報とタンパク質の合成	・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。（知識及び技能） ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。（思考力、判断力、表現力等） ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							53

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教 科： 理科 科 目： 化学基礎 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 1 学年 組～ 組
教科担当者： （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）
使用教科書： （ 新編 化学基礎（東京書籍） ）

教科 理科 の目標：
【知 識 及 び 技 能】自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】自然の事物、現象から疑問を見いだすことができ、その疑問に対して仮説を立てることができる。
【学びに向かう力、人間性等】グループワークや実験において自分の意見を発表する等、周囲に対して配慮しながらコミュニケーションをとることができる。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物、現象についての基本的な概念法則を身に付ける。また、実験においては器具を安全に使用することができる。	自然の事物、現象から疑問を見出し、その疑問に対して仮説をすることができる。また、周囲と疑問点に関して議論を行うことができる。	実験やグループワーク等において、他者に配慮しながら行動することができる。また、他者の意見を取り入れながら、自分の考えを熟成させることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	化学とはなにか ・化学と物質について、化学の特徴を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ・化学と物質について、問題を見出し、見通しをもって実験などを行い、化学的に考察し表現する。 ・化学の特徴に関する事物・現象に主体的に関わり、化学的に探究しようとする態度を養う。	・化学とは何か	・化学と物質についての実験などを通して、化学の特徴について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・化学の特徴について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	1
	物質の成分と構成元素 ・化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ・化学と物質について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、化学的に考察し表現する。 ・物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、化学的に探究しようとする態度を養う。	・物質の成分 ・物質の構成元素 ・物質の三態 ・	・化学と物質についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について、問題を見出し見通しを持って実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	原子の構造と周期表 ・物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・物質の構成粒子について、観察・実験を通して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について見出して表現する。 ・原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・原子の構造 ・電子配置と周期表	・物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	4
	化学結合 ・物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ・物質と化学結合について、観察・実験などを通して探究し、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について見出して表現する。 ・物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・イオンとイオン結合 ・分子と共有結合 ・金属と金属結合 ・化学結合と物質の分類	・物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

2 学 期	物質と化学反応式 ・物質と化学反応式についての 実験などを通して、物質、化学 反応式のことを理解するととも に、それらの観察・実験などに関 する技能を身に付ける。 ・物質と化学反応式について、 観察・実験などを通して探究し、 物質、化学反応式を見出して表 現する。 ・物質、化学反応式について主 体的に関わり、見通しをもったり 振り返ったりするなど、科学的に 探究しようとしている。	・原子量・分子量・式量 ・物質 ・溶液の濃度 ・化学反応の表し方 ・化学反応式の表す量的関係	・物質と化学反応式についての実験などを 通して、物質、化学反応式の基本的な概念 や原理・原則などを理解しているとともに、 科学的に探究するために必要な実験などに 関する基本操作や記録などの基本的な技能 を身に付けている。（知識及び技能） ・物質、化学反応式について、問題を見出 し見通しをもって実験などを行い、科学的 に考察し表現しているなど、科学的に探究 している。（思考力、判断力、表現力等） ・物質、化学反応式について主体的に関わ り、見通しをもったり振り返ったりするな ど、科学的に探究しようとしている。（学び に向かう力、人間性等）	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	酸と塩基 ・化学反応についての実験などを 通して、酸・塩基と中和のことを 理解するとともに、それらの観 察・実験などに関する技能を身に 付ける。 ・化学反応について、観察・実験 などを通して探究し、酸・塩基と 中和を見出して表現する。 ・酸・塩基と中和に関する事物・ 現象に主体的に関わり、科学的に 探究しようとする態度を養う。	・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩の生成 ・中和反応	・化学反応についての実験などを通して、 酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則 のなどを理解しているとともに、科学的に探 究するために必要な実験などに関する基本操 作や記録などの基本的な技能を身に付けてい る。（知識及び技能） ・酸・塩基と中和について、問題を見出し見 通しをもって実験などを行い、科学的に考察 し表現しているなど、科学的に探究してい る。（思考力、判断力、表現力等） ・酸・塩基と中和について主体的に関わり、 見通しをもったり振り返ったりするなど、科 学的に探究しようとしている。（学びに向か う力、人間性等）	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	
3 学 期	酸化還元反応 ・化学反応についての実験などを 通して、酸化と還元のことを理解 するとともに、それらの観察・実 験などに関する技能を身に付け る。 ・化学反応について、観察・実験 などを通して探究し、酸化と還元 を見出して表現する。 ・酸化と還元に関する事物・現象 に主体的に関わり、科学的に探究 しようとする態度を養う。	・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 ・金属の酸化還元反応 ・酸化還元反応の応用	・化学反応についての実験などを通して、酸 化と還元の基本的な概念や原理・原則などを 理解しているとともに、科学的に探究するた めに必要な実験などに関する基本操作や記 録などの基本的な技能を身に付けている。（知 識及び技能） ・酸化と還元について、問題を見出し見通し をもって実験などを行い、科学的に考察し表 現しているなど、科学的に探究している。 （思考力、判断力、表現力等） ・酸化と還元について主体的に関わり、見通 しをもったり振り返ったりするなど、科学的 に探究しようとしている。（学びに向かう 力、人間性等）	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
合計							
63							

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （ 1 組：美濃越） （ 2 組：吉田） （ 3 組：野木） （ 4 組：野木） （ 5 組：野木） （ 6 7 組：阿原）

使用教科書： （ 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けたことを言ったり書いたりできるようにする。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え判断できるようにする。
	【学びに向かう力、人間性等】
	個人生活や社会生活における健康・安全に関心をもち、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習に取り組めるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	現代社会と健康 【知識及び技能】 健康の保持増進に必要な事柄について、健康を保持増進するためには、適切な生活行動を選択すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解し、課題解決に役立つ知識を身に付けたことを言ったり書いたりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康の保持増進に必要な事柄について、自分のこれまでの学習や経験をもとにしたり、資料や仲間の意見などを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の保持増進に必要な事柄について、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習できるようにする。	健康の考え方と成り立ち ・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 ・ワークシート、タブレット活用	【知識及び技能】 健康の保持増進に必要な事柄について、健康を保持増進するためには、適切な生活行動を選択すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解し、課題解決に役立つ知識を身に付けたことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 健康の保持増進に必要な事柄について、自分のこれまでの学習や経験をもとにしたり、資料や仲間の意見などを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断している。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の保持増進に必要な事柄について、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	1
		私たちの健康のすがた ・わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。 ・わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。 ・ワークシート、タブレット活用		○	○	○	1
		生活習慣病の予防と回復 ・生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ・生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。 ・ワークシート、タブレット活用		○	○	○	1
		がんの原因と予防 ・がんの種類や原因について説明できる。 ・がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。 ・ワークシート、タブレット活用		○	○	○	1
		がんの治療と回復 ・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 ・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できる。 ・ワークシート、タブレット活用		○	○	○	1
		運動と健康 ・健康と運動の関係について説明できる。 ・目的に応じた健康的な運動のしかたについて例をあげて説明できる。		○	○	○	1
		食事と健康 ・食事と健康の関係について説明できる。 ・健康的な食事のとり方について説明できる。		○	○	○	1
		休養・睡眠と健康 ・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。 ・健康と睡眠の関係及び健康による睡眠のとり方について説明できる。		○	○	○	1
		定期考査		○	○		1
		喫煙と健康 ・喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 ・喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげて説明できる。		○	○	○	1
		飲酒と健康 ・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。 ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。		○	○	○	1
		薬物乱用と健康 ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。 ・薬物乱用防止のための個人や社		○	○	○	1

社会環境への対策例をあげることが
精神疾患の予防
・精神疾患を予防する方法について説明できる。
・精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。
精神疾患からの回復
・精神疾患の治療について例をあげて説明できる。
・精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる。
現代の感染症
・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。
・新興感染症と再興感染症が流行
感染症の予防
・感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。
・感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる。
性感染症
・エイズとその予防・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。
・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげることができる。
定期考査

[illegible]

3 学 期		健康に関する意思決定 ・行動選・意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。 ・健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。		○	○	○	1
		健康に関する環境づくり ・社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。 ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できる。		○	○	○	1
	安全な社会生活	事故の現状と発生要因 ・事故の実態と被害の実態について説明できる。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。	【知識及び技能】 安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすること及び安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、課題解決に役立つ知識を身に付けたことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	1
		安全な社会の形成 ・安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。 交通における安全 ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 ・交通事故における責任を3つに分けて説明できる。	【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について必要な事柄について、自分のこれまでの学習や経験をもとにしたり、資料や仲間の意見などを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断している。	○	○	○	1
		【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について必要な事柄について、自分のこれまでの学習や経験をもとにしたり、資料や仲間の意見などを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活に必要な事柄について、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習できるようにする。	【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活に必要な事柄について、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	1
		定期考査		○	○		1
				合計			
				24			

高等学校 令和5年度 教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：阿原・吉田

使用教科書：（大修館書店 ステップアップ高校スポーツ2023）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、体力の必要性について理解しようとする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、一人ひとりの違いを大切にしようとする意欲を育て、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎体力を向上と基本的な運動技能の習得を目指し、運動の楽しさや喜びを味わおうとする。運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身につけようとする。	運動を通して自分を知り、自己の課題にあった解決方法を見つけることができる。グループ活動を通して、自己の考えを他者に伝える力を養う。これまでの活動を振り返り、改善策を考え実行することができる。	自ら進んで集団の中で役割を果たし、周りと協力してスポーツを楽しみ、仲間を大切にできる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A	男子 陸上競技 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	○短距離走 ・合理的なフォームを身に付け、個人のタイムを短縮し、競走できるようにする。 ・スタートダッシュは地面を力強くキックして、徐々に状態を起こして加速できるようにする。 ・疾走後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムカルな動きで走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	6
B	男子 サッカー (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	・ 防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・ 味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・ 空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。 ・ 隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10

1 学 期	C 男子 水泳 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて腕全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スカーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐとができています。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができています。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができています。	○	○	○	10
	A 女子 陸上競技 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保すること。	○短距離走 ・合理的なフォームを身に付け、個人のタイムを短縮し、競走できるようにする。 ・スタートダッシュは地面を力強くキックして、徐々に状態を起こして加速できるようにする。 ・疾走後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムカルな動きで走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができています。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができています。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができています。	○	○	○	
	B 女子 バスケットボール (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。	・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。 ・隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができています。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができています。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保することができています。	○	○	○	

C 女子 水泳 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は速くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて腕全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スカーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐとができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
D 男女体づくり運動 (2単位) 【知識及び技能】 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする事、話し合いに貢献しようとする事などや、健康・安全を確保すること。	・運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。 ・調和のとれた体力の向上を図ったり、選択した運動やスポーツの場面で必要とされる体の動きを高めたりするために、効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。	【知識及び技能】 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする事、話し合いに貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10

2 学 期	A 男子 水泳（2単位） 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて腕全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スカーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐとができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	8
	B 男子 バスケットボール（2単位） 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。	・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。 ・隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10
	A 女子 水泳（2単位） 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて腕全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スカーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐとができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	

	B 女子 サッカー (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・ 防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・ 味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・ 空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。 ・ 隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。				
	A 男子 陸上競技 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	○長距離 ・ リズミカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走る。 ・ 呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走る。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。				10
3 学 期	A 女子 陸上競技 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	○長距離 ・ リズミカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走る。 ・ 呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走る。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。				

[illegible]

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組
教科担当者： 諫見のリ子
使用教科書：（ ON 1 （音友 音Ⅰ704） ）
教科 芸術 音楽 の目標：

- 【知識及び技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現することができる。
②曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解する。
③音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに興味をもち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに興味をもち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現することができる。 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解する。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 斉唱「校歌」「少年時代」 【知識及び技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに興味をもち、主体的・協働的に取り組む。	・発声練習 ・鑑賞「校歌」 ・歌唱「校歌」 ・歌詞の内容と表現「校歌」 ・鑑賞「少年時代」 ・歌唱「少年時代」 ・歌詞の内容と表現「少年時代」 ・歌唱テスト	○			○	【知識・技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現している。 【思考・判断・表現】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	B 器楽「ボディーパーカッション」 【知識及び技能】 ①音符と休符の意味を理解する。 ②器楽合奏をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。	・音符・休符・音楽用語・記号の意味 ・各自で1パート、2パートのリズム練習 ・グループでリズム練習 ・拍子記号の意味 ・リズム創作 ・リズム発表と互いに鑑賞		○	○	○	【知識・技能】 ①音符と休符、音楽用語・記号の意味を理解できている。 ②器楽合奏をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組んでいる。	○	○	○	10
	A 鑑賞「交響曲第9番 第4楽章 ベートーベン」 【知識及び技能】 ①曲想や表現上の効果と音楽の構造との関り、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関りについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考える。 ②自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 ①「曲の構成や音楽に込められた作曲者の思いに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。	・ベートーベンの生涯について ・ベートーベンの作品について ・シラーの歌詞の内容について ・第4楽章に構成について ・鑑賞 ・音楽に込められた作曲者の思いについて				○	【知識及び技能】 ①曲想や表現上の効果と音楽の構造との関り、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関りについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えている。 ②自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①「曲の構成や音楽に込められた作曲者の思いに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組んでいる。	○	○	○	6

3 学 期	B ギター 【知識及び技能】 ①ギターの構造や奏法について理解することができる。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ギターやギターの音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組む。	・ギターの構造 ・ギターの基本的な奏法 ・ポジション表 ・音階練習（1.2弦） ・指の練習 ・「かっこう」練習 ・「喜びの歌」練習 ・実技テスト			○	○	【知識・技能】 ①ギターの構造や奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現している 【思考・判断・表現】①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①ギターやギターの音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	20
	A ギター 【知識及び技能】 ①コードネームについて理解する。 ②ギターの構造や奏法について理解することができる。 ③創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ギターやギターの音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組む。	・コードネームについて ・コードネームの奏法について ・「Happy Birthday To You」 ・弾き語りについて ・実技テスト			○	○	【知識・技能】 ①コードネームについて理解している。 ②ギターの奏法について理解している。 ③創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現している 【思考・判断・表現】①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①ギターやギターの音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	14
	B 合唱「群青」 【知識及び技能】 ①曲想や歌詞の内容や表現上の効果の関りについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解する。 ②創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色・旋律・テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考える。 ②どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 ②歌詞の内容と作詞者・作曲者の思いに関心をもち、	・発声練習 ・参考音源鑑賞 ・各パート音取り ・パート練習 ・合唱 ・歌詞の意味 ・この曲ができるまで			○		【知識・技能】 ①曲想や歌詞の内容や表現上の効果の関りについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 ②創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 ①音色・旋律・テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えている。 ②どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組んでいる。 ②歌詞の内容と作詞者・作曲者の思いに関心をもち、	○	○	○	10

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 芸術 科目 美術Ⅰ

单位数： 2 单位

使用教科書：（ 高校生の美術 1 日本文教出版 ）

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】芸術を通して他者と自己の違いや互いの長所を認め合うとともに、粘り強く作品に取り組むことができる。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
デッサンの見方と技術、色とかたちの基本的知識の修得、アイデアスケッチの方法とアイデアを深めるための技術、配色計画と彩色技術、レタリング技術を学び、制作に生かすことができるようにする。	与えられた課題に対して、学んだ知識と技術を基に、考えを深め、美的且つ効果的に工夫して表現することができる。	主体的に授業に取り組み、美術の授業を通して他者と自己の違いや互いの長所を認め合うとともに、粘り強く制作に取り組むことができる。

[illegible]

[illegible]

篠崎 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目		書道Ⅰ	
教 科：	芸術	書道Ⅰ	単位数：
対象学年組：第	1 学年	6 組	
教科担当者：+B4B5:AC5	（1組：小西優輝）	（2組：小西優輝）	（3組：小西優輝） （4組：小西優輝） （5組：小西優輝） （6組：小西優輝）
使用教科書：	（ 光村図書 書Ⅰ		
教科	芸術		

【知 識 及 び 技 能】	の目標： 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】	古典、古筆等の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。
【学びに向かう力、人間性等】	漢字の書体の変遷や仮名、漢字仮名交じり書の成立、その背景にある歴史や文化に関心を持ち、主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

科目	書道Ⅰ	の目標：
・知識 【表現】 古典・古筆等の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【鑑賞】 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 ・技能 古典・古筆等に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	【知識及び技能】 【表現】 古典・古筆等の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【鑑賞】 古典・古筆等の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	【表現】 主体的に書道の幅広い表現の学習活動に取り組む。 【鑑賞】 主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			賞鑑	評価規準	知	思	態	数時当配
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	○単元 漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 【表現】 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 【鑑賞】 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 【鑑賞】 古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 【鑑賞】 主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 〔行書〕 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顏氏家廟碑 牛嶺造像記 鄭義下碑 上記古典を学び、様々な書体・書風、表現を学ばせる。 ・教材 光村図書 書Ⅰ		○		○	【知識及び技能】 ・知識 【表現】 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【鑑賞】 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【鑑賞】 古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】 主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16
2 学 期	○単元 漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 【表現】 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【鑑賞】 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【鑑賞】 古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】 主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・指導事項 〔行書〕 羅名存 争座位文稿 蜀素帖 風信帖 〔草書〕 真草千字文 〔篆書〕 曹全碑 〔篆書〕 泰山刻石 上記古典を学び、様々な書体・書風、表現を学ばせる。 〔創作〕 これまで学んだ書体・書風を生かし、生徒各自が選んだ漢文(熟語等も含む)を作品化させる。また様々な創作例を鑑賞し、作品に応用させる。 ・教材 光村図書 書Ⅰ		○		○	【知識及び技能】 ・知識 【表現】 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【鑑賞】 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【鑑賞】 古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】 主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	20
	○単元 仮名の書 【知識及び技能】 ・知識 【表現】 線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。 【鑑賞】 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 【鑑賞】 仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 【鑑賞】 主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 仮名の成立と種類についての説明、時代背景等、特徴的な筆遣いを理解させる。仮名の基本的な筆遣い（横の線、縦の線、転折、円運動、結びなど）を指導。 平仮名・変体仮名の指導。 ・教材 光村図書 書Ⅰ		○	○	○	【知識及び技能】 ・知識 【表現】 線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解している。 【鑑賞】 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【鑑賞】 仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】 主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6

3 学 期	○単元 仮名の書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 漢字切 高野切第三種 紺色紙 上記古典を学び、様々な書風、表現を学ばせる。 〔創作〕 これまで学んだ仮名の書風を生かし、生徒各自が選んだ和歌を作品化させる。また様々な創作例を鑑賞し、作品に応用させる。 ・教材 光村図書 書 I			○	○	【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	○単元 漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の成立について理解させる。 ・技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を活かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫させる。 〔鑑賞〕創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 〔鑑賞〕主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 漢字仮名交じりの書の特徴、歴史について指導。 漢字と仮名の調和や自由な紙面構成などの表現の特徴を理解させる。また用具・用材の違いによる表現の違いも理解させる。 創作を通して、作品制作の楽しさ、難しさ、表現の多様さを感じさせる。心に響く言葉、好きな言葉を素材に作品制作させる。 作品鑑賞会により、生徒相互の意見を述べさせ、評価させる。			○		○	【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の成立について理解している。 ・技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を活かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 〔鑑賞〕創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字	6	合計	62

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：4 単位

対象学年組：第1学年 組～組
教科担当：（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）
使用教科書：『Power On English CommunicationⅠ教科書』（教科書）、『Power On English CommunicationⅠWORKBOOK』（副教材）、『Power On English CommunicationⅠスタディノート』（副教材）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】・身近な内容に関する内容を理解し、やりとりすることができる。
・身近な内容に関する文章を読んだり、書いたりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】・身近なテーマに関する簡単な表現で英文を書くことができる。その発表ができる。

・休み時間中に学習教材を用意し、授業に向けた準備ができている。わからない単語の意味調べをしてい

【学びに向かう力、人間性等】・

・本文を読み、内容をもとに自分の考えをまとめることができる。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話したり書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して文章を書いたり、話して伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、自分の興味関心と関連付けて様々な見方・考えを持つ、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	記 時 数
		聞	話	読 書				
A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 ・動詞の現在形・過去形・進行形、助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。新出単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・過去と現在の日本の観光状況について、必要な情報、話したり書き手の意図、要点を伝え、読んだことを活用しながら、情報や自分の考えを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・過去と現在の日本の観光状況について、必要な情報、話したり書き手の意図、要点を伝え、読んだことを活用しながら、情報や自分の考えを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。	【題材内容】 外出の観光客に人気の体験型ワークショップを紹介するALTの話 【言語材料】 動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞・動詞の原形 【言語の働き】 質問する、説明する、発表する 【一人1台端末の活用】 日本の観光状況について調べ、作文を作成	○	○	○	【知識・技能】 ・動詞の現在形、過去形、進行形、助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・学習した語彙を書いたり、読んだりできる。 【思考・判断・表現】 ・過去と現在の日本の観光状況について、必要な情報、話したり書き手の意図、概要や要点を理解している。 ・読んだことを活用し、情報や自分の考えを論理性に注意して話したり書いたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に学習に取り組む態度 ・過去と現在の日本の観光状況について、必要な情報、話したり書き手の意図、概要や要点を理解しようとしている。 ・読んだことを活用し、情報や自分の考えを論理性に注意して話したり書いたりしようとしている。	○	○	7
B 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 ・必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。	【題材内容】 生き物が光る理由や、その光が医療研究に利用されていることに関する生体による発表 【言語材料】 受け身、現在完了形、現在完了進行形 【言語の働き】 質問する、説明する、理由を述べる、発表する 【一人1台端末の活用】 光る生き物やその光が医療研究に利用されている動画をみて感想を英語で書く。	○	○	○	【知識・技能】 受け身、現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、必要な情報や要点や自分の考えなどを伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、必要な情報や要点を伝えたり、聞いたとき読んだりしたことを活用しながら自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に学習に取り組む態度 ・光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、必要な情報や要点を伝えたり、聞いたとき読んだりしたことを活用しながら、自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	7
C 単元 Lesson 3 【知識及び技能】 ・動名詞、不定詞、S+V+O [that節]を用いた文の形・意味・用法を理解し、必要な情報や話したり書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉え、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文の内容から、必要な情報、話したり書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたとき読んだりしたことを活用しながら、自分や他の好きなスポーツ選手について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の内容から、自分の意見や考えを話したり書いたりして、論理的に他者に伝えようとすることや、お互いに意見を交換する。	【題材内容】 スポーツクライマーである野口選手インタビュー 【言語材料】 動名詞、不定詞、S+V+O [that節] 【言語の働き】 質問する、説明する、理由を述べる、助言する、紹介する、発表する 【一人1台端末の活用】 日本や世界で活躍しているスポーツ選手について調べてパワーポイントを用いてプレゼンテーション活動を実施	○	○	○	【知識・技能】 【知識】動名詞、不定詞、S+V+O [that節]を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】動名詞、不定詞、S+V+O [that節]などの理解を基に、スポーツクライマーである野口選手インタビューの内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①必要な情報、話したり書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたとき読んだりしたことを活用しながら、本文の内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。 ②本文の内容を活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに他者に使用する技能を書き伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①スポーツ選手についての友達の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の好きなスポーツ選手について、聞いたとき読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを即興で話して伝え合うやり取りを続けようとしている。 ②自分の好きなスポーツ選手について友達に知ってもらうために、聞いたとき読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。	○	○	7
定期考査						○	○	1

1学期	Lesson 4	【語彙・技能】 前後修辭の現在分詞、後置修辭の過去分詞、比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解し、聞き取ったり、自分の意見を伝えることができる。	【教材内容】 日本のマンガの形式とその細部に關する留学先による発表	【語彙・技能】 後置修辭の現在分詞、後置修辭の過去分詞、比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解し、聞き取ったり、自分の意見を伝えることができる。	○	○	○	7
	Lesson 5	【語彙・技能】 必要情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	【教材内容】 ザンパのガナナの家から作られたパナペーパーへの日本の伝統芸術に関する講義	【語彙・技能】 関係代名詞（主格）、関係代名詞（目的格）、S+am+不定詞	○	○	○	7
	Lesson 6	【語彙・技能】 必要情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	【教材内容】 人間の身体と行動パターンに関する実験の順次や結果を解説する講義	【語彙・技能】 It+be動詞+形容詞+that節、S+V[be動詞以外+C]、S+V+O+C	○	○	○	7
	Lesson 7	【語彙・技能】 必要情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	【教材内容】 プラスチックがもたらす環境破壊に関する論文	【語彙・技能】 関係副詞where、関係副詞when、関係代名詞	○	○	○	7
2学期	Lesson 8	【語彙・技能】 現在分詞の分詞文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解し、聞き取ったり、自分の意見を伝えることができる。	【教材内容】 イギリス人によるフィッシュ・アンド・チップスの歴史と食料問題に関する論文	【語彙・技能】 現在分詞の分詞文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解し、聞き取ったり、自分の意見を伝えることができる。	○	○	○	1
	Lesson 9	【語彙・技能】 現在分詞の分詞文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解し、聞き取ったり、自分の意見を伝えることができる。	【教材内容】 世界中の若者の間で人気が出ているeスポーツの状況に関する論文	【語彙・技能】 S+V[知覚動詞]+O+現在分詞、原形不定詞、S+V[知覚動詞]+O+C	○	○	○	7
	Lesson 10	【語彙・技能】 現在分詞の分詞文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解し、聞き取ったり、自分の意見を伝えることができる。	【教材内容】 写真家ヨシダギンさんに関する雑誌記事	【語彙・技能】 wish+仮定法過去の節、仮定法過去のas if節、仮定法過去の節、仮定法過去のif節、仮定法過去の節	○	○	○	7
	Lesson 11	【語彙・技能】 現在分詞の分詞文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解し、聞き取ったり、自分の意見を伝えることができる。	【教材内容】 世界中の若者の間で人気が出ているeスポーツの状況に関する論文	【語彙・技能】 S+V[知覚動詞]+O+	○	○	○	7
3学期	定期考査							

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教 科： 情報 科 目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1 組～7 組：佐藤万治）

使用教科書：（ 高校情報ⅠPython／実教出版 ）

教科 情報 の目標： 問題の発見・解決に向けての情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できる資質・能力の育成

【知 識 及 び 技 能】科目「情報Ⅰ」と同様

【思考力、判断力、表現力等】科目「情報Ⅰ」と同様

【学びに向かう力、人間性等】科目「情報Ⅰ」と同様

科目 情報Ⅰ の目標： 問題の発見・解決に向けての情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できる資質・能力の育成

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術の問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技術を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質およびそのような社会と人間の関わりについて理解している。	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○オリエンテーション・PC準備など 【知識及び技能】 校内のルール説明（ID管理など） 【思考力、判断力、表現力等】 ルールの必要性について考える 【学びに向かう力、人間性等】 ルールの必要性について考える	・PC室端末について ・BYODや365アカウントの説明 ・一人一台端末の説明および設定など ○プリント配布	【知識・技能】 校内のルールに適合したPC等の運用ができる 【思考・判断・表現】 ルールの必要性を理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にPCを活用できる	○	○	○	4
	第1章 情報社会 【知識及び技能】 情報化が進展する社会の特質について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 情報の特性を活用した事例と、情報の特性によって生じるについて問題意識を持つ 【学びに向かう力、人間性等】 SNSを利用したコミュニケーションの注意点について考え、自らの生活に反映させる。	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（PC教室）使用	【知識及び技能】 情報化が進展する社会の特質について理解した 【思考力、判断力、表現力等】 情報の特性を活用した事例と、情報の特性によって生じるについて問題意識を持った 【学びに向かう力、人間性等】 SNSを利用したコミュニケーションの注意点について考え、自らの生活に反映させた	○	○	○	8
	第6章 プログラミング 【知識及び技能】 アルゴリズムとプログラミングの意味を理解する 変数を使用したプログラミングの作成ができる 【思考力、判断力、表現力等】 簡単なアルゴリズムを文章やフローチャートなどの図で表現できる 関数を活用したプログラムを設計し、効率的なプログラムを作成できる 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムやフローチャートの表記に興味関心を示している 問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムの作成ができる 定期考査	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（PC教室）使用	【知識及び技能】 アルゴリズムとプログラミングの意味を理解した 変数を使用したプログラミングの作成ができる 【思考力、判断力、表現力等】 簡単なアルゴリズムを文章やフローチャートなどの図で表現できた 関数を活用したプログラムを設計し、効率的なプログラムを作成できた 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムやフローチャートの表記に興味関心を示した 問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムの作成ができた	○	○	○	8
				○	○		1
2・3 学 期	第2章 情報デザイン 【知識及び技能】 情報をわかりやすく伝達するための文字や図の表現の工夫、表やグラフ、配色の工夫など、基本的な方法を理解している プレゼンテーションの企画、準備、実施、評価、改善など、プレゼンテーションの流れについて理解している 実際にプレゼンテーションのためのスライドなどの資料をコンピュータで作成することができる 【思考力、判断力、表現力等】 目的に沿って、情報を可視化したり配色を変えて表現をしたりすることができる 情報伝達やコミュニケーションを促進するために、情報デザインの工夫について、個人やグループで検討することができる プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し、適切かつ効果的にプレゼンテーションを行うことができる 【学びに向かう力、人間性等】 説得力のあるプレゼンテーションを行うため、スライドの作成やリハーサルを取り組み、フィードバックを行いながら、よりよいプレゼンテーションになるよう粘り強く準備	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（PC教室）使用	【知識及び技能】 情報をわかりやすく伝達するための文字や図の表現の工夫、表やグラフ、配色の工夫など、基本的な方法を理解した プレゼンテーションの企画、準備、実施、評価、改善など、プレゼンテーションの流れについて理解した 実際にプレゼンテーションのためのスライドなどの資料をコンピュータで作成することができた 【思考力、判断力、表現力等】 目的に沿って、情報を可視化したり配色を変えて表現をしたりすることができた 情報伝達やコミュニケーションを促進するために、情報デザインの工夫について、個人やグループで検討することができた プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し、適切かつ効果的にプレゼンテーションを行うことができた 【学びに向かう力、人間性等】 説得力のあるプレゼンテーションを行うため、スライドの作成やリハーサルを取り組み、フィードバックを行いながら、よりよいプレゼンテーションになるよう粘り強く準備を進めた	○	○	○	24

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	第5章 問題解決 【知識及び技能】 表計算ソフトを用いて関数を使用した基本操作ができる 表計算ソフトを用いてデータの並べ替え、抽出ができる情報化が進展する社会の特質について理解する グラフの種類や機能を理解し、表県産ソフトを用いてデータをグラフ化することができる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の目的や内容に適したデータを選択して収集する力がある 問題解決の目的や条件にしたがって、表計算ソフトの関数を適切に適用してデータ処理を行うことができる 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決のため、表計算ソフトを用いて収集した情報を処理したり、グラフで可視化したりすることに興味を持っている。また、データ分析を粘り強く行うことができる	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（PC教室）使用	【知識及び技能】 表計算ソフトを用いて関数を使用した基本操作ができた 表計算ソフトを用いてデータの並べ替え、抽出ができる情報化が進展する社会の特質について理解した グラフの種類や機能を理解し、表県産ソフトを用いてデータをグラフ化することができた 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の目的や内容に適したデータを選択して収集する力をつけた 問題解決の目的や条件にしたがって、表計算ソフトの関数を適切に適用してデータ処理を行うことができた 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決のため、表計算ソフトを用いて収集した情報を処理したり、グラフで可視化したりすることに興味を持った。また、データ分析を粘り強く行うことができた	○	○	○	25
							合計
							70